

# 第3回 第4次静岡市総合計画策定会議

日時：2021年9月15日（水）

14時00分から15時30分

会場：静岡庁舎新館8階 市長公室

## 1 開会

## 2 市長挨拶

## 3 議題

(1) 基本構想 資料1

(2) 4次総における人口目標 資料2

(3) (仮) 7つの柱におけるロジックモデルの検討 資料3

(4) その他 資料4

- ・表現の統一
- ・プロジェクトチーム
- ・作業スケジュール

## 4 閉会

次回会議（予定）

- ・11月15日（月）10:30～12:00 第4回4次総策定会議

# 1 基本構想（案）

	3次総	3次総の概要	4次総の概要(案)
1 まちづくりの目標	現在の静岡市は、旧静岡市、清水市、由比町、蒲原町の合併により誕生し、現行の地方自治制度上最大の権能を有する政令指定都市として、我が国の発展の一翼を担っています。 そして今、世界水準の都市への飛躍に向けて、この地に住む人々が誇りを持ち、訪れる人々が憧れを抱くまちを目指し、新たな「まちづくりの目標」として、「『世界に輝く静岡』の実現」を掲げることとしました。	・「『世界に輝く静岡』の実現」という目標（スローガン）を掲げている →どのような絵姿か不透明	・「『世界に輝く静岡』の実現」という目標（スローガン）が理解できるように、解釈を追加
2 目指す都市像	静岡市は、世界に輝くための様々な要素を持ち、未来への豊かな可能性にあふれていることから、これらの一つひとつをみがきあげていくことにより、世界水準の都市が実現できるものと考えます。 中でも、今川義元公や徳川家康公などに彩られた「歴史と文化」や、快適な気候風土に育まれた「健康的な暮らし」は、「世界に輝く静岡」を具体化するために、最もふさわしい要素や可能性といえます。 そこで、これらの要素や可能性を活かしたまちづくりを「目指す都市像」として掲げ、そのみがきあげを最優先に進め、「『世界に輝く静岡』の実現」を目指します。 (1)「歴史文化のまち」づくり 静岡市は、東海道の要衝として、これまで悠久の歴史を紡ぎ、多彩な文化を育んできました。これらの歴史文化は、世界遺産や国宝として今日に伝えられており、その価値は、世界の宝、日本の宝ともいえるべきものと評価されています。 これらの傑出した地域資源の活用を図り、新たな経済的価値を創造することにより、文化力を地域活力に転換していくことで、「都市の発展」を目指します。 (2)「健康長寿のまち」づくり 静岡市は、温暖な気候や豊富な日照時間、豊かな自然を背景に、快適な居住環境を有しています。 また、多彩な食材に恵まれ、穏やかな市民性とも相まって、生涯にわたって健康的に暮らし続けることが可能な、日本屈指の生活環境を有しています。 これらの恵まれた地域資源を活かし、市民、企業、行政といったあらゆる主体が連携・協力し、地域の課題を発見、解決していくことにより、一人ひとりのさらなる生活の質の向上と健康長寿を実現していくことで、「暮らしの充実」を目指します。	・『世界に輝く静岡』を実現するため、本市の特徴である「歴史文化のまち」づくりと「健康長寿のまち」づくりを「目指す都市像」として位置づけ →「歴史文化のまち」づくりと「健康長寿のまち」づくりの二つを掲げ、基本計画（6つの重点プロジェクト）や実施計画（5大構想）とのつながりが少しわかりにくいですが、記載されている内容は今後とも必要なもの	・「目指す都市像」として「歴史文化のまち」づくりと「健康長寿のまち」づくりの2つを掲げるのを取りやめ、「『世界に輝く静岡』の実現」するため、本市の特徴である「静岡らしさ」を活かす内容に変更 ・3次総の記載内容を踏襲しつつ、基本計画とのつながりを意識した表現に変更 ・具体的な絵姿を示し、わかりやすくするため、〈1まちづくりの目標〉と〈2目指す都市像〉を統合する
3 市政のさらなる展開	静岡市は、目指す都市像である「『歴史文化のまち』づくり」や「『健康長寿のまち』づくり」を進めていくとともに、市政のさらなる展開を目指していくため、市政の目標として「都市の発展」と「暮らしの充実」を掲げます。 (1)「創造する力」による「都市の発展」 「都市の発展」のためには、産業・経済の振興が必要です。 産業・経済の振興には、地域資源の活用により新たな価値を生みだしていく「創造する力」が重要です。 そこで、静岡市は、市政のさらなる展開のため、「創造する力」による「都市の発展」を目指します。 (2)「つながる力」による「暮らしの充実」 「暮らしの充実」のためには、安心・安全の確保が必要です。 安心・安全の確保には、多様な主体の連携により地域の課題を解決していく「つながる力」が重要です。 そこで、静岡市は、市政のさらなる展開のため、「つながる力」による「暮らしの充実」を目指します。	・「目指す都市像」とは別に「創造する力」による「都市の発展」と「つながる力」による「暮らしの充実」を市政の目標として位置づけ →「目指す都市像」とは別の市政の目標というものが、目指す都市像とリンクしていないため浸透していないが、記載されている内容は今後とも必要なもの	・3次総の記載内容を踏襲しつつ、目指す都市像を実現するための方針として記載 ・目指す都市像とのつながりを意識するため、タイトルを〈市政のさらなる発展〉から〈実現にむけた基本的な方針〉に変更 ・基本計画で具体的に示す7つの柱を意識した記載とする
4 基本計画の策定	静岡市は、静岡市に関わるあらゆる人々と共に、まちづくりの目標である「『世界に輝く静岡』の実現」を共有化し、「目指す都市像」の実現を目指していくとともに、市政のさらなる展開のため、「『創造する力』による『都市の発展』」と、「『つながる力』による『暮らしの充実』」を市政運営の両輪として、本基本構想に基づく基本計画を策定し、政策・施策の円滑かつ着実な推進を図ります。	・基本構想を実現するために、基本計画を策定 →当然の内容、他都市には記載なし	・記載しない

	4次総のイメージ（大まかな項目）	備考
<p><b>1</b> まちづくりの目標 （目指す都市像）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○背景               <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡市の歴史、置かれている環境</li> <li>・国内・世界における位置付け（国内・世界に与えている影響） など</li> </ul> </li> <li>○持続可能な社会の実現への決意               <ul style="list-style-type: none"> <li>・時速可能な社会を目指す国内・世界の都市との協働</li> <li>・豊かな社会を次世代に引き継いでいくこと など</li> </ul> </li> <li>○まちづくりの目標（目指す都市像）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界に輝く静岡」の実現</li> <li>・先進的な持続可能都市として、国内・世界の都市を先導する「世界水準の都市」を目指す</li> <li>・この地に住む人々が誇りを持ち、訪れる人々が憧れを抱くまちを目指す</li> <li>・世界中から人々が集まるまちを目指す など</li> </ul> </li> <li>○「この地域に住まい、集う全ての市民の皆さんとの連帯と協働の下、新たなまちづくりに挑戦していく」</li> </ul>	
<p><b>2</b> 実現に向けた 基本的な方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「世界に輝く静岡」の実現のために必要なもの               <ul style="list-style-type: none"> <li>・先人たちが築いてきた資産を磨き上げること</li> <li>・その資産を活かす市民の皆さんの生活を向上させること など</li> </ul> <p>⇒「静岡らしさの追求」が不可欠</p> </li> <li>○「静岡らしさの追求」とは               <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の特徴を余すことなく活かすこと</li> <li>・従来の規模の利益を求める「世界都市」とは異なった、大きくなくても世界を振り向かせる、キラッと光る特徴があること</li> <li>・成長・拡大から、成熟・持続可能社会への転換が求められている我が国や世界の趨勢にも適っていること など</li> </ul> </li> <li>○「『静岡らしさ』を追求していくため、『地域経済の活性化』と『暮らしの充実』の観点から本市の特徴を活かしたまちづくりを進めていく」</li> <li>○「地域経済の活性化」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史資源」、「教育環境」、「オクシズ・南アルプス」、「駿河湾・清水港」 など</li> </ul> <p>⇒他に類似を見ない、オンリーワンの資源に磨きをかけ、これらを活かして産業と経済の振興を図り、国内・世界を牽引していく新たな価値を生みだしていく</p> </li> <li>○「暮らしの充実」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「住みやすさ」、「文化・芸術活動」、「安全・安心のまち」 など</li> </ul> <p>⇒日々の生活に安心と潤いを与える特徴を最大限に活かし、市民の皆さんの暮らしの充実を通じて、誰もが輝き、活躍できる社会を目指す</p> </li> </ul>	

# 4次総における人口目標（案）

資料2

## 3次総における人口目標

平成37年(2025年)に  
総人口70万人を維持

### 【目標設定時の基本的な考え方】

- ・人口減少は、地域経済や市民の暮らしなどに様々な影響を及ぼすものであり、人口の維持は、地域の持続的な発展のための極めて重要な課題である
- ・人口減少対策を進める上で、市民と行政の心をひとつにするわかりやすい目標の設定が必要である
- ・敢えて高いハードルを設定し、本市に関わるあらゆる人々とともに、実現に向けて全力で取り組む必要がある

## 本市の人口動態の現状

- ・本市の人口動態のうち、社会増減については、平成29年と令和2年にプラスに転じるなど、回復傾向が続いている。
- ・また、国立社会保障・人口問題研究所による人口推計について、2013年の数値と2018年の数値を比較すると、2025年時点の推計は、約65万人➡約67万人に、さらに、2040年時点の推計は、約56万人➡約59万5千人に上方修正されるなど、3次総の取組の効果は確実に現れている状況にある。
- ・しかし、国全体での人口減少、少子高齢化に歯止めがかかっていないことや、人や企業の東京一極集中が依然として是正されていないなどの要因から、本市の人口は減少傾向が続いており、平成30年には住民基本台帳登録人口が70万人を下回り（698,733人）、更に、令和2年の国勢調査（速報値）においても同様に、70万人を下回った（693,759人）。

## 目標見直しの必要性

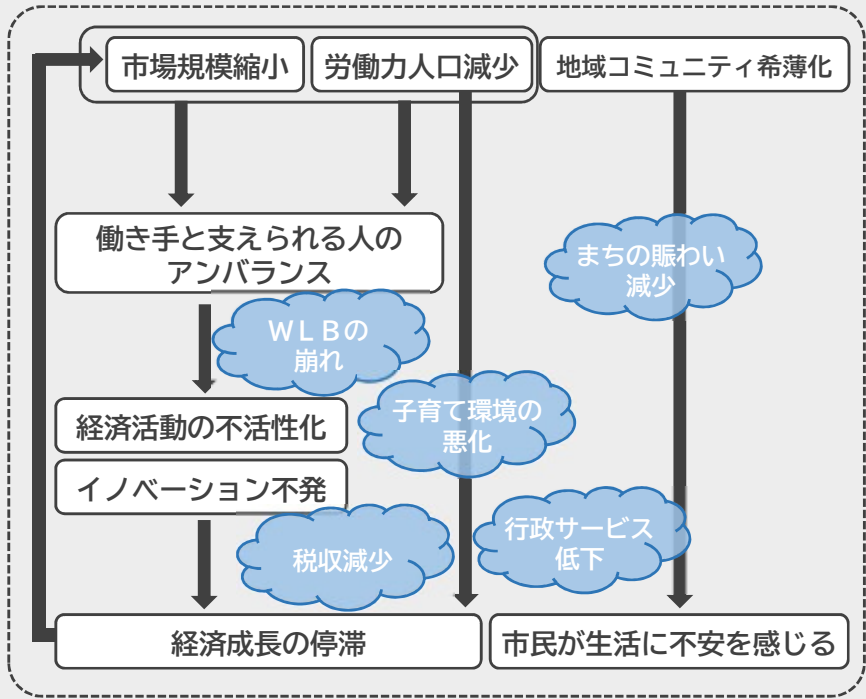
- ・国全体での人口減少、少子高齢化の傾向は今後も続くことが確実であり、本市においても、**更なる人口減少は回避できない状況にある。**
- ・3次総では、都市活力の源泉の一つである「人口規模」を最大の目標として様々な取組を進めてきたが、4次総においては、こうした時代の潮流を踏まえた上で、**人口減少社会の中にあっても、本市が地域の活力を維持し「世界に輝く静岡」であり続けることを目指して、まちづくりを進めていく必要がある。**
- ・本市が「まち・ひと・しごと創生法」に基づき令和2年3月に策定した「静岡市第2期総合戦略」では、既に、定住人口のみではなく、交流人口、関係人口といった概念を念頭に置いた、「人口活力の維持及び持続可能なまちの実現」を目標として掲げており、同様の考え方を4次総においても取り込んでいく必要がある。

4次総においては、3次総の人口目標である「人口70万人維持」を見直し、「地域の活力維持」を総合的に測る目標を、新たに設定することとしたい

# 4次総における人口目標（案）

## 人口減少に伴う影響イメージ

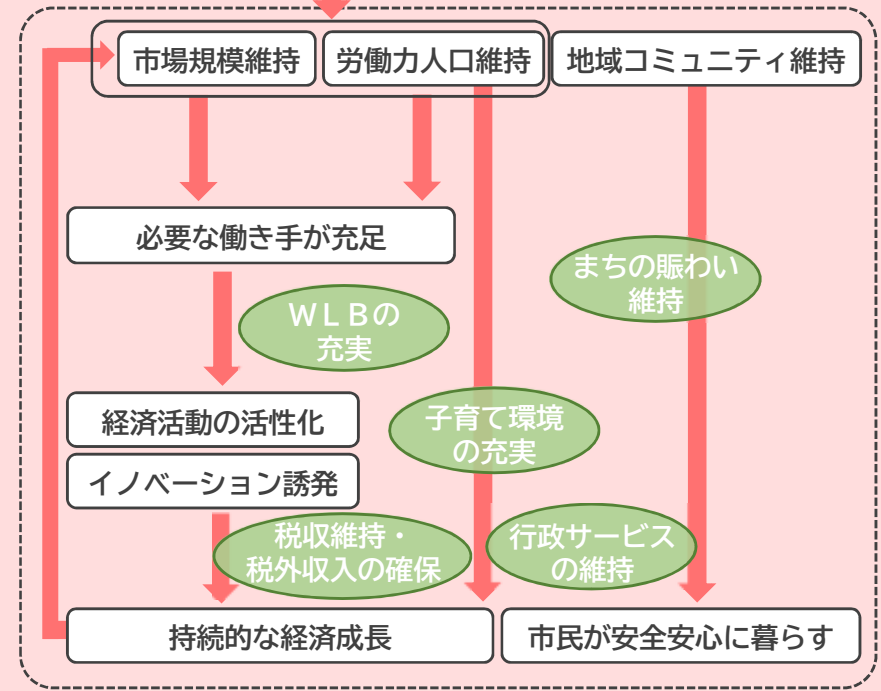
(急速な)人口減少



※内閣府 経済財政諮問会議 「選択する未来」委員会報告 解説・資料集 第2章 人口・経済・地域社会の将来像 (3)人口急減・超高齢化の問題点を基に静岡市企画課作成

3次総では、人口減少に歯止めをかけることで、上図のような負のスパイラルを断ち切ることを目指し、定住人口に着目した目標を設定

## 「世界に輝く静岡」イメージ (地域の活力が維持されている状態)



4次総では、定住人口のみに捉われず、上図のような好循環により地域の活力が維持されていることを総合的に測る目標を設定したい

# 4次総における人口目標（案）

- 「地域の活力維持」という抽象的な目標は、単独の指標ではなく、複数の指標を組み合わせることで評価していくことが必要であるとする。
- 地域の活力を維持するためには、「経済成長」「まちの賑わい」「WLB」「子育て環境」「豊かさ（QOL）」などの要素が重要となることから、こうした要素に関する指標のうち適切なものを選定し、4次総に位置付けていくこととしたい。
- 選定する指標案については、今後実施する市民アンケートの結果や、策定会議における議論等を踏まえ、4次総の基本計画案（骨子案）の作成までに決定する。
- また、3次総で掲げてきた定住人口の目標（70万人）については、4次総においては目標としないが、終期である2030年時点の「人口の目安」として、「概ね65万人」と位置付ける。

## 設定する指標（例）

	指標（例）
経済成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内総生産額（GDP）</li> <li>・ 市民所得額</li> <li>・ 有効求人倍率</li> </ul>
まちの賑わい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつもまちが賑わっていると感じる市民の割合</li> <li>・ 観光交流客数</li> </ul>
W L B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WLBが充実していると感じる市民の割合</li> <li>・ 有給休暇取得日数、余暇時間</li> </ul>
子育て環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て環境に満足している市民の割合</li> </ul>
豊かさ（QOL）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静岡市にずっと住みたいと感じる市民の割合</li> <li>・ 静岡市への誇りを持つ市民の割合</li> </ul>

### 【例】「地域の活力維持」を測るための指標

- ① 市内総生産額（GDP）
- + ② 子育て環境に満足している市民の割合
- + ③ 静岡市にずっと住みたいと感じる市民の割合 など

## 人口の目安（案）

- 国立社会保障・人口問題研究所が2018年に示した最新の人口推計によると、4次総終期である2030年の本市の人口は、646,098人となっている。
- 地域の活力維持の取組を進めることによって、人口減少速度が鈍化されることを前提に、2030年時点の定住人口の目安を「概ね65万人」として4次総に位置付ける。



## 7つの柱をロジックモデルで整理する理由

### ①目的—手段 明確化をしたい

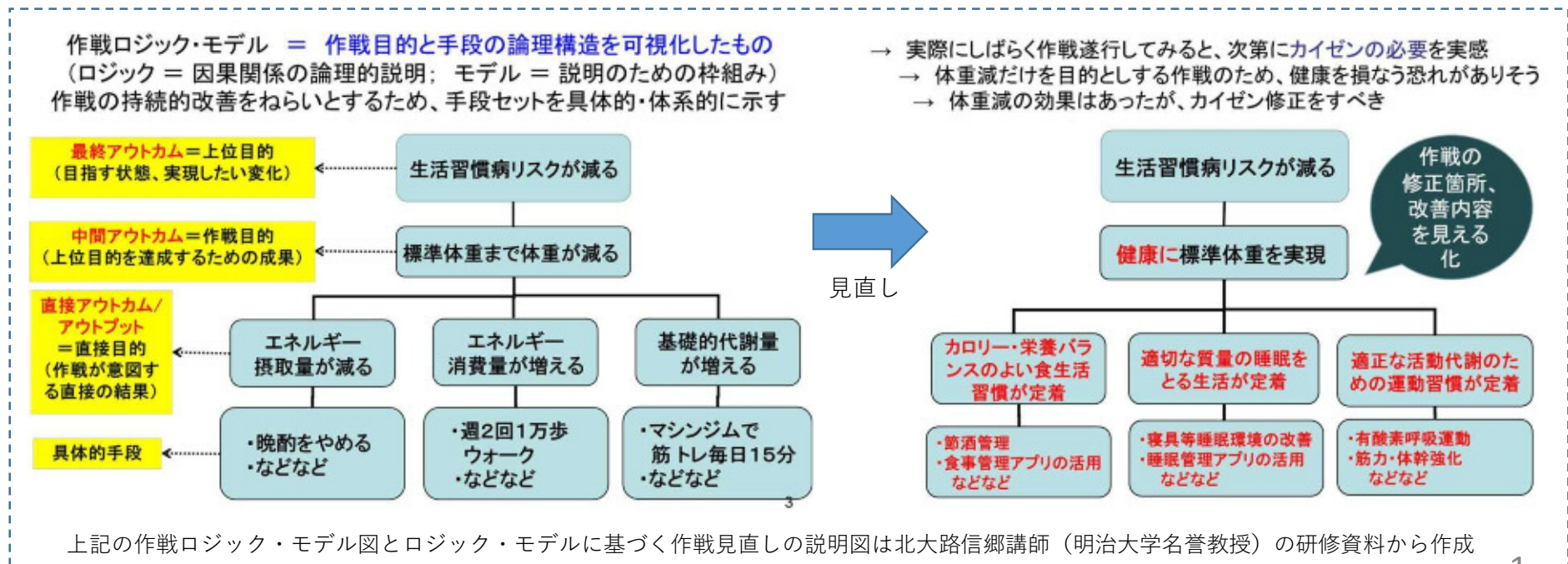
3次総の5大構想では実現すべき将来像に向けた事業群（関係事業をグルーピングしただけ）となっているため、目的—手段の関係で整理を行う必要がある。

### ②適切な指標を設定したい

3次総では、政策に対し41の指標、施策に対し132の指標を設定していたが、政策の成果を把握できる指標が設定できていないなどの課題があった。

### ③ロジック・モデルを活用して、施策・事業の見直しを行っていききたい

ロジック・モデルを活用して体系的に整理することで、効果的に施策・事業の見直しを行いたい。



## (仮) 7つの柱におけるロジックモデル検討について

### 7つの柱ロジックモデルの考え方

- ・各柱で最終的な目指す姿を「スーパーゴール」とし、それに対し4次総期間中の最終アウトカムを各柱3つ程度設定し、ロジックモデルを作成する。
- ・ロジックモデルの検討に当たっては、明治大学の北大路氏、源氏からの助言をいただきながら、進めていく。
- ・7つの柱作業部会での検討に入る前に、企画課及び各柱のキーパーソンとともに、各柱の目指す姿、最終アウトカムのたたき台を作成する。

### 【ロジックモデルたたき台検討の前提となる考え方】

- ・7つの柱は、「世界に輝く静岡の実現」を達成するための重点政策であるため、**7つの柱を推進することで、静岡市が世界に輝くことを目指す。**  
※現状維持ではなく、今ある地域資源の磨き上げを行うことで世界に輝くことを目指す
- ・7つの柱を「尖ったもの」とするため、あれもこれもと網羅的にならず、**4次総期間中に重点的に取り組むこと**を絞り込んだものとする。
- ・各柱における、**言葉の定義（範囲）、重点エリアなどを整理し、柱の全体像を誰からもわかりやすいものにする。**



# (仮) 7つの柱におけるロジックモデル検討について(検討イメージ)

## 「安全・安心のまちの推進」のロジックモデルの検討について

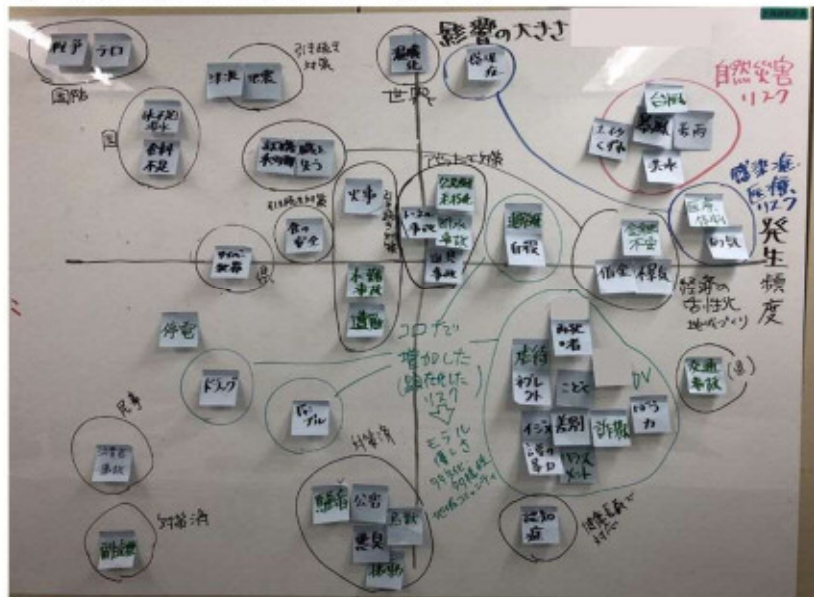
### 1 本市が「安全・安心のまちの推進」に取り組む理由

- 近年、世界的な気候変動に起因する激甚災害の頻発、新型コロナウイルスの感染拡大、急激な社会経済状況の変化などに伴い、市民生活を脅かすリスクが増加、多様化している。
- そうした中、様々なリスクとその影響を可能な限り予見し、効果的な事前対策を行うとともに、発生した場合に迅速かつ確実な対応を講じていくことが求められている。  
⇒「安全」の確保
- 4次総において目指すまちの姿である「世界に輝く静岡」を実現するためには、「市民のQOL向上」が不可欠である。そのためには、市民が不安なく、豊かに暮らすことができる状態でなければならない。⇒「安心」の確保（「安全」が確保されていることは、「安心」の確保のための条件の一つ）
- 市民の安全・安心の確保は、行政に課せられた最も基本的な責務であるものの、同時に、「世界に輝く静岡」を実現するための、大きな取組の柱の一つとしても捉えていく必要がある。
- よって、4次総における（仮）7大構想の一つとして、「安全・安心のまちの推進」を掲げ、取り組むこととしたい。

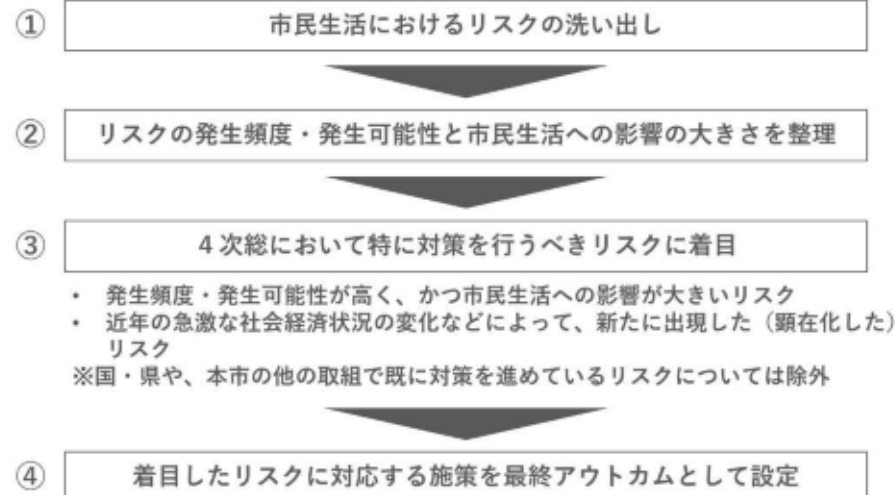
### 目指す姿（スーパーゴール）

市民生活を脅かす様々なリスクへの対応が図られており、市民が不安なく暮らすことができる状態

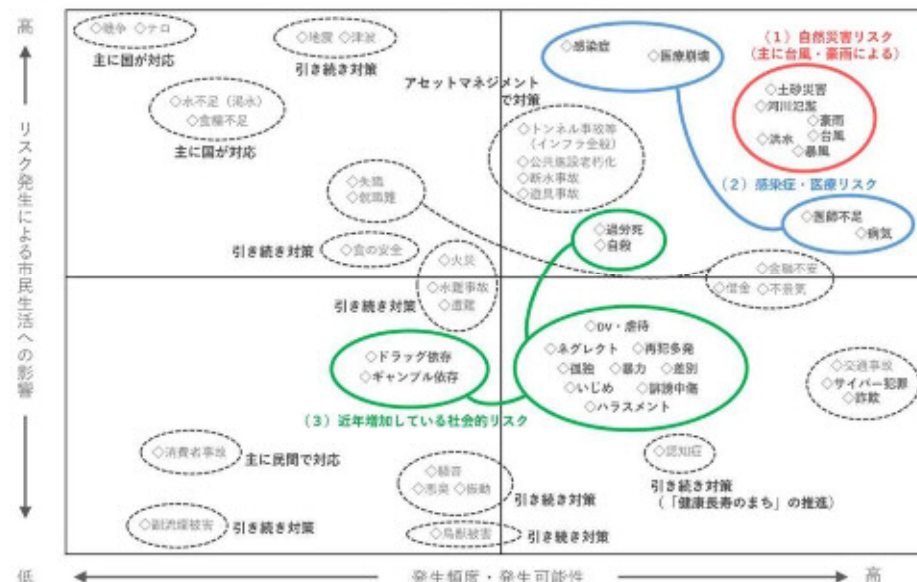
### 2-① 市民生活におけるリスクの洗い出し



### 2 「安全・安心のまちの推進」の施策（最終アウトカム）検討ステップ



### 2-② リスクの発生頻度・発生可能性と市民生活への影響の大きさを整理



本資料は、ロジックモデルの検討において概要整理のためにイメージとして作成したものであり、具体的根拠に基づいた資料でないため、あくまで参考資料となります。

# 「4次総・（仮）7つの柱ロジックモデル体系案」と「3次総・5大構想記載内容の比較」

		3次総・5大構想		4次総・（仮）7つの柱	
7つの柱	3次総実施計画記載（目標）	当初予算報道資料での記載内容（方針）	目指す姿（スーパーゴール）（素案）	4次総最終アウトカム（素案）	関連計画
歴史文化の地域づくり	徳川家康公が晩年暮らした駿府城公園周辺の魅力を高める取組を通じて、来街者の増加による地域経済の活性化を図るとともに、大御所が愛した「平和都市・静岡」を世界に向けてアピールする。	<p>① 歴史文化の伝承と新たな魅力の創出による風格ある街並みの形成 駿府城公園や浅間神社などの歴史的資源を磨き上げ、歴史を感じる空間を創出することにより、駿府城公園周辺エリアのブランドを高め、静岡都心への集客力を高める。</p> <p>② 駿府城公園周辺における賑わいと潤いのある新たな公共空間の創造 駿府城公園などの歴史的施設で、公共空間を活用した、地域資源の魅力を向上させる取組を行うことにより、市民の静岡都心への誇りと愛着を高め、「まちなかライフ」の楽しさを演出する。</p>	市民の歴史認識が醸成され、静岡に誇りと愛着を持つとともに、徳川氏・今川氏を中心とした歴史資源を活用し、世界中から人が集まり「おまち」周辺が賑わっている状態	<p>① 「静岡市と徳川氏・今川氏」の結びつきが市内外に広く定着した状態（歴史認識）</p> <p>② 駿府城公園周辺の歴史資源が磨き上げられ、活用されている状態（歴史施設、フィールドミュージアム）</p> <p>③ 駿府城公園周辺の歴史資源と中心商業エリアが相互に連携し、効果的に賑わいを生み出している状態（回遊性）</p>	歴史文化のまちづくり グランドデザイン (策定予定)
海洋文化の地域づくり	清水港周辺に集積する行政、民間企業、教育機関などと連携し、海洋関連産業の振興を促進することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を図り、地球全体の海を取り巻く環境の保全や、海洋人材の育成にも取り組むことで、国内外から人々が訪れる「国際海洋文化都市」の実現を目指す。	<p>① 産学民官の連携による「海洋文化拠点」の形成 大学等の研究機関や周辺企業等との連携を深め、新たな海洋産業の振興や海洋人材の育成を図るとともに、海洋・地球に関する総合的な展示施設である「海洋文化施設」を整備し、この施設が国際海洋文化都市のシンボル施設となることを目指す。</p> <p>② 「働くみなと」に「楽しむみなと」を加えた求心力の強い港町の創生 清水都心ウォータースタンド地区において、民間活力を引き出すような観光の基盤整備や、わくわくドキドキを肌で感じるような多彩な賑わいづくりの施策を進めるとともに、地震や津波に備えた災害対策を推進する。</p>	世界に誇る駿河湾や清水港を最大限に活かした産業・観光・研究などにより、国内外から人が集まる国際海洋文化都市として、清水港周辺が賑わっている状態	<p>① 時代に適応した港湾物流産業が強化・再配置され、集積している状態（産業・物流）</p> <p>② 研究・産業により磨き上げられた多様な海洋資源を活用して交流が生み出されている状態（交流・賑わい・観光）</p> <p>③ 海洋への愛着・関心が高い市民が増え、専門的な海洋人材が育っている状態（研究・教育・環境）</p>	清水みなとまちづくり グランドデザイン (2040年)
教育・スポーツ文化の地域づくり	J R東静岡・草薙駅周辺地区に、すべての人が質の高い教育を受けることのできる機会を創出し、地域経済の活性化を図るとともに、多くの若者が集まり、交流が生まれるまちを目指す。	<p>① 教育文化の薫りが漂う都市空間の創造 文化・スポーツの殿堂を目指す東静岡地区と、大学や図書館、美術館などが集積し、文教エリアとしての特色を有する草薙地区に、教育文化の新たな価値を創造し、地域経済の活性化を果たす。</p> <p>② 高等教育を始めとした学習機会の提供と学びの場「に富んだ人材の養成 多様な高等教育を始め、生涯にわたって学習できる機会を充実させるとともに、積極的にまちづくりに関わろうとする公共意識を持った人材の養成や、市民参画意識を促す施策を進める。</p>	市民が生涯にわたりまなび続けることができるとともに、スポーツが持つ「みる・する・ささげる」といった楽しみ方を活かすことで、J R東静岡・草薙駅周辺が賑わっている状態	<p>① 魅力ある文化的な都市空間が創造されている状態（場づくり）</p> <p>② まなびに触れる機会が充実している状態（人づくり）</p> <p>③ まなびに関するコミュニティが生まれている状態（エリマネ）</p>	駿河学びのまちづくり グランドデザイン (2040年)
森林文化の地域づくり  New !	—	—	自然豊かなオクシズにおいて、環境と経済が両立した持続可能な地域社会を実現し、そこに住む人々がいきいき輝くことにより、オクシズの魅力を世界に発信できている状態	<p>① 農業や林業に代表される基幹産業により経済活動が持続している状態（産業）</p> <p>② 多彩な地域資源の活用によりオクシズに訪れる人が増加し、地域全体が賑わっている状態（交流）</p> <p>③ 住み慣れた地域で住民の生活環境が維持され、安心した生活ができている状態（生活基盤）</p>	オクシズ 地域おこし計画 (2022年)
まちは劇場の推進	地域に根付いた大道芸や演劇・音楽などの文化・クリエイティブ活動を活かし、おまちに出かければいつも何かが起こる、「わくわくドキドキ」する、そんなまちづくりを進めることで地域経済の活性化を図るとともに、ここに暮らす誇りと喜びを感じることができるまちに成熟させる。	<p>① わくわくドキドキの仕掛けづくりと人材育成 市民がまちなかに来るたびに、わくわくドキドキを感じられる「非日常空間」づくりと、担い手となる人材育成を併せて行うことにより、市民主体の創造的活動を活発化し、本市の魅力が向上することで、「市街からの来街者の増加」「地域経済の活性化」につなげる。</p> <p>② 公共空間の積極的な活用による「舞台」の創出と戦略的な情報発信 公共的都市空間における文化・クリエイティブ活動の「舞台」を創出することで、大道芸に代表される世界レベルのパフォーマンスに身近に触れる機会を増やすとともに、「戦略的な情報発信」を行うことで、訪れる人々やパフォーマンスによって憧れの地となるような地域資産の魅力向上を図る。</p>	地域に根付いた大道芸や演劇・音楽などの芸術文化の力により、一人ひとりの心を豊かに満たし、365日誰もが輝いている状態	<p>① 市民が、日常的に芸術文化に触れ、楽しむことで、静岡市に対する誇りと愛着を持っている状態（日常性）</p> <p>② 芸術文化が行われている雰囲気求めて、世界から多くの人々が来静している状態（インバウンド）</p> <p>③ まちなかで芸術文化に触れることができる居心地の良い場所があふれている状態（ウォークアブル）</p>	まちは劇場 ロジックツリー (庁内資料)
健康長寿のまちの推進	人生100年時代を見据え、あらゆる年齢の人が住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができるまちを実現する。	<p>① 健康寿命75歳への延伸 徳川家康公の健康長寿の秘訣と言われる“知への好奇心（社会参加）”、“食事”、“運動”を柱として、市民一人ひとりが、これらを日常的に取り入れやすい都市環境づくりと市民の自発的な健康づくりの支援を推進する。</p> <p>② 自宅でずっと暮らせるまちづくり 自宅でずっと暮らせるまちの実現に向け、医療・介護等の専門側や地域の市民の連携により、切れ目のない医療・介護や介護予防、生活支援といった支援の体制を構築するとともに、市民に積極的に情報発信することで、地域に根差した静岡型地域包括ケアシステムの構築を目指す。</p>	市民が、できる限り、健康で人生を楽しむことができ、住み慣れた「自宅でずっと」、自分らしく暮らすことができている状態	<p>① 医療・介護の専門職の連携による切れ目のない支援体制が構築されている状態（医療・介護）</p> <p>② 市民の連携による地域での支え合い体制が構築されている状態（地域支え合い）</p> <p>③ 市民の自主的な健康長寿の取組が促進されている状態（自主的な活動）</p>	健康長寿のまちづくり計画 (2022年)
安全安心のまちの推進  New !	—	—	市民生活を脅かす様々なリスクへの対策や対応が図られることにより、市民が不安なく豊かに暮らすことができている状態	<p>① 局地的豪雨やそれに付随する災害に、的確に対策や対応ができている状態（風水害）</p> <p>② 新型コロナウイルスなどの感染症に、的確に対策や対応ができている状態（感染症）</p> <p>③ 市民が地域社会において、多様性を尊重し、他者への寛容性を有し、不安を感じることなく生活できている状態（顕在化した社会的リスク）</p>	

# (仮) 7つの柱 政策・施策体系イメージ (歴史文化の地域づくり)

## 目指す姿 (スーパーゴール)

市民の歴史認識が醸成され、静岡に誇りと愛着を持つとともに、それらが歴史資源として活用され、来街者により“おまち” (静岡都心) が賑わっている状態  
 (歴史文化の地域づくりにおける“歴史”とは、徳川氏・今川氏に関連した歴史を中心と設定)

## 関連するSDGsゴール及びターゲット

- ・最終的にどのような状態の実現を目指すのか究極の状態を具体的に表現するもの。
- ・行政の意図と政策の意義を納税者に説明するための情報として必要となる。

## 政策・施策体系

最終アウトカム=上位目的	中間アウトカム=作戦目的	手段	事業など
<p>・最終的に目指す姿を実現するために、4次総期間中に特に取り組むべきもの。</p> <p>・4次総期間にどのような状態の実現を目指すのかを具体的に表現するもの。</p> <p>google R3: 〇〇位 ⇒ R8: 〇〇位                      yahoo R3: 〇〇位 ⇒ R8: 〇〇位</p>	<p>・政策の最終アウトカムを実現するために必要な成果</p> <p>・「中間」とは4次総期間における期間の中間(4年)ではなく、最終アウトカムを達成するための中間的成果</p> <p>・中間的成果を把握し、作戦の改善に役立てるもの。</p> <p>康「今川義元」と関係する東京都民の割合                      駿府城公園 R3: 〇〇% ⇒ R8: 〇〇%                      徳川家康 R3: 〇〇% ⇒ R8: 〇〇%                      今川義元 R3: 〇〇% ⇒ R8: 〇〇%</p>	<p>本市における徳川氏・今川氏の功績や足跡の整理</p> <p>結びつきを知る・体験する機会の提供</p> <p>市内外への情報発信</p> <p>市民の日常への落とし込み</p>	<p>A級順位戦最終局開催事業</p> <p>今川義元公生誕五百年祭推進事業</p>
<p>(2) 駿府城公園周辺の歴史資源が磨き上げられ、活用されている状態</p> <p>指標: 歴史・文化などを身近に感じることができるまちだと思える市民の割合                      R3 〇% ⇒ R8 〇%</p>	<p>・核となる歴史資源を中心に複数の歴史資源等が磨き上げられ、多くの人に利用されている状態</p> <p>・指標: エリア周辺の歴史施設等の利用者数                      R3: 〇〇人 ⇒ R8: 〇〇人</p> <p>・本市を訪れた人が、歴史資源に感動し、「また来たい」「誰かに伝えたい」と感じている状態</p> <p>・指標: SNSにおける投稿数                      R3: 〇〇件 ⇒ R8: 〇〇件</p>	<p>歴史資源の保全活用</p> <p>歴史文化のシンボルづくり</p> <p>イベント等による誘客</p> <p>SNS投稿の促進</p>	<p>歴史文化施設建設事業</p> <p>フィールドミュージアム事業</p> <p>東御門橋架替え事業</p> <p>文化財保護補助事業(浅間神社)</p> <p>駿府九十六ヶ町 町名碑設置事業</p> <p>お堀の水辺(葵舟)活用事業</p>
<p>(3) 駿府城公園周辺の歴史資源と中心商業エリアが相互に連携し、効果的に賑わいを生み出している状態</p> <p>指標: 中心商業エリアと駿府城公園周辺エリアを結ぶ代表地点における歩行者通行量                      H30-R01: 平均11,776人 R8: 〇〇人</p>	<p>・駿府城公園周辺と中心商業エリアの回遊性が高い状態</p> <p>・指標: 歩道面積 R3: 〇% ⇒ R8: 〇%                      公共空間活用日数 R3: 〇日 ⇒ R8: 〇日</p> <p>・駿府城公園周辺と中心商業エリアが相互に連携し、誘客等を行っている状態</p> <p>・指標: 中心商業エリアと駿府城公園周辺エリアを結ぶ代表地点における歩行者通行量                      H30-R01: 平均11,776人 R8: 〇〇人</p>	<p>回遊性の確保</p> <p>商店街との連携</p> <p>モデルプランづくり</p> <p>エリア全体の商品化</p>	<p>追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業</p> <p>城北公園Park-PFI事業</p> <p>(今川歴史街道整備)</p> <p>旧青葉小学校跡地利活用推進事業</p> <p>静岡市民文化会館再整備事業</p>

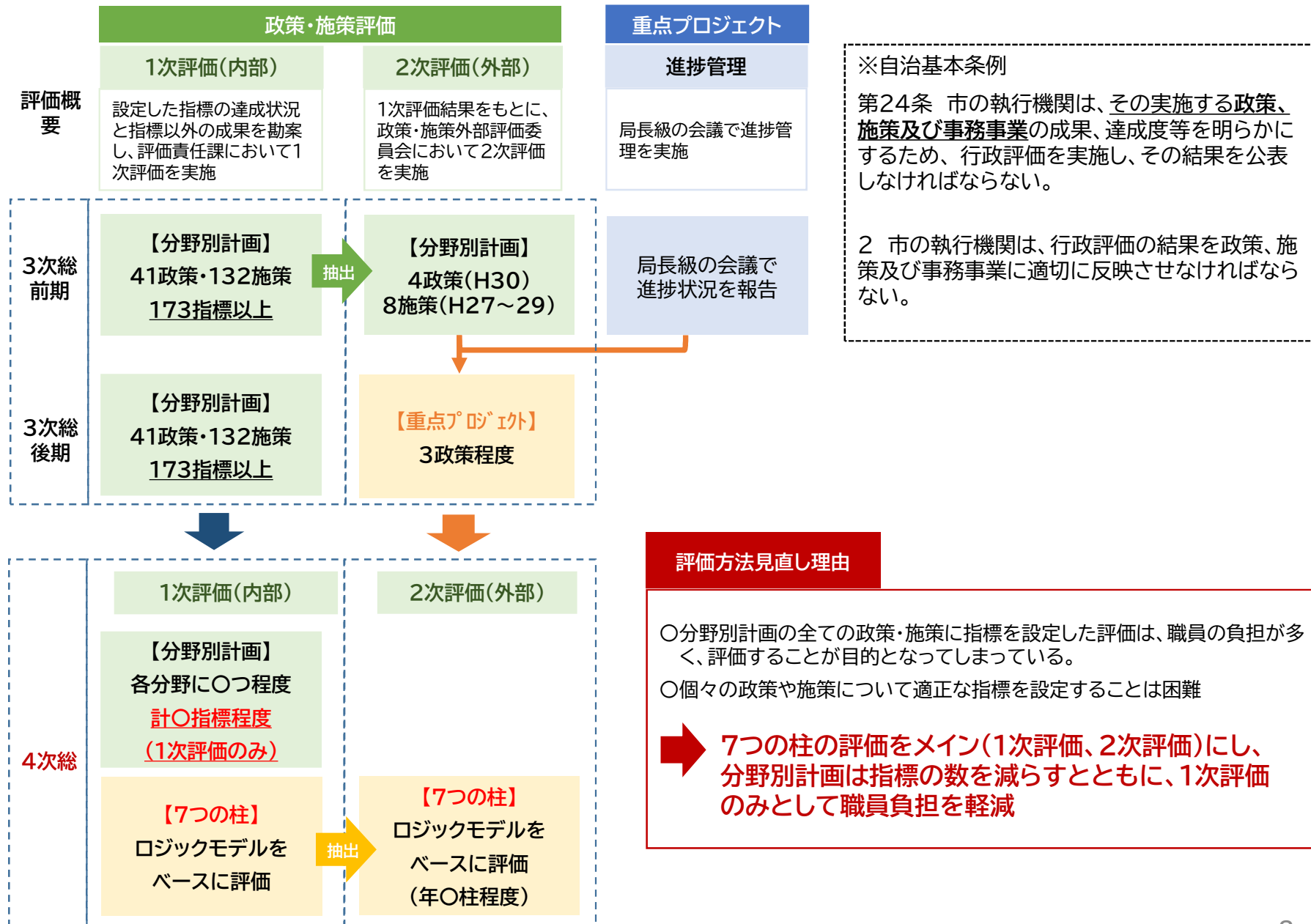
# (仮) 7つの柱検討作業部会構成 (案)

(仮) 7つの柱	メンバー		ロジックモデル作成 における有識者	
	関係各課※部会における検討の中で調整あり	企画課	有識者 (学識)	市民委員
			関係課との調整 のうえ 各構想 2～3名 程度選定	
歴史文化の 地域づくり	観光交流文化局：歴史文化課・文化財課・観光.MICE推進課 企画局：アセットマネジメント推進課 都市局：都市計画課・緑地政策課 など	乗松 伊熊	明治大学 名誉教授 北大路氏  明治大学 教授 源氏  東洋大学 教授 米原氏  (株)Co-Lab 共同代表 伊藤氏  ※総務課の政策施 策評価と連携	
海洋文化の 地域づくり	経済局：海洋文化都市政策課・水産漁港課・産業政策課・産業振興課 環境局：環境創造課 観光交流文化局：観光.MICE推進課 など	乗松 伊熊		
教育・スポーツ 文化の地域 づくり	企画局：企画課・アセットマネジメント推進課 市民局：生涯学習推進課 観光交流文化局：スポーツ振興課、都市局：清水駅周辺整備課 など	渡辺 森山		
森林文化の 地域づくり	経済局：中山間地振興課 環境局：環境創造課 建設局：道路計画課、各区：葵区地域総務課、清水区地域総務課 など	渡辺 森山		
健康長寿の まちの推進	保健福祉長寿局：保健福祉長寿局全般 経済局：産業政策課、商業労政課 都市局：交通政策課 など	伊藤 牧		
まちは劇場 の推進	観光交流文化局：まちは劇場推進課・文化振興課 経済局：商業労政課 都市局：都市計画課、建設局：道路計画課 など	下山 田中		
安全・安心な まちの推進	危機管理総室：危機管理課、市民局：生活安心安全課、 保健福祉長寿局：福祉総務課、建設局：道路保全課、河川課 消防局：消防総務課、各区：各区地域総務課 など	伊藤 牧		

## 今後のスケジュール（案）

日 程	内 容	備 考
9/15（水）	第3回4次総策定会議	・各柱のロジックモデル素案について会議に提示し、意見をいただく
9/15以降	各局へ作業部会メンバーの選出依頼発出	締切10月上旬
10/月上旬	第1回作業部会 （内容）・ロジックモデルについて（簡易な研修） ・各柱の目指す姿、最終アウトカム素案の確認 ・外部市民委員の人選検討	
10月下旬 11月下旬	第2、3回作業部会 （内容）・ロジックモデルの検討（中間アウトカム、手段、事業の検討） ・SDGsの組み込み検討	・11月15日第4回策定会議
12月～1月	第4、5回作業部会 （内容）・外部市民委員とともにロジックモデル検討 （手段、事業へのアイデア出し検討）	・総務課の政策施策評価と連携して行う ・12月9日第5回策定会議
2月～3月	第6、7回作業部会 （内容）・ロジックモデル検討 （手段、事業へのアイデア出し検討）	・部会実施回数は各部会の進捗状況により変動あり ・3月14日第6回策定会議

# (仮) 7つの柱と10の分野別計画の評価について (案)



・総合計画で使用する表現を、市民にもわかりやすく、誤解を招かないようにするために、統一を図る。

これまでの表現	評価	4次総提案	理由	その他候補
5大構想	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想の中に7大構想がある</li> <li>構想が7つもあることに違和感がある</li> </ul>	7つの柱 7本柱	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現がわかりやすく、7つが目指す都市像を支えているイメージがわく。</li> </ul>	7大、7本、〇〇セブン  政策、ポリシー、事業、プロジェクト、ビジョン、計画、コンセプト、プラン、方針、理念、概念、戦略、ストラテジー、ミッション、アイデンティティ、目標、イニシアティブ、星、宝、プログラム
〇〇の拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハード的な拠点を連想させる</li> <li>中山間地では生活拠点（小さな拠点）と混同する可能性がある</li> </ul>	地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハード的なエリア感に限定されず、市民との協働イメージもわく。</li> </ul>	核、土台、軸、コア、まちづくり、プラットフォーム、特徴、特色、誇り、プライド、作戦、しかけ
森林文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞いた人により、捉え方が異なる可能性がある</li> </ul>	森林文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国屈指（全国4位）の森林面積を誇る静岡市であり、森林の価値を広くPRするため。</li> </ul>	オクシズ、森の恵み、グリーン、農林、人里、森山、南アルプス、エコパーク

# 4次総作業スケジュール

